

鳥取縣公報

告示

昭和十六年三月七日
第千二百十三號

金曜日

本書ノ大キキ、國定規格A5列

鳥取縣告示第百二十二號

鳥取縣水產試驗場水產青年講習生募集要項左ノ如シ

昭和十六年三月七日

水產青年講習生募集要項

- 一 位 置 鳥取市賀露町一〇六九
- 一 場 所 鳥取縣水產試驗場
- 一 講習ノ目的 漁村中堅人物養成
- 一 講習科目 精神修練、技術修練
- 一 學科 (漁政經濟 漁船操典 漁撈教範 製造教範 養殖教範 氣象學教程 學洋學教程 造船教程 修身 公民 國語 作文 理數科 英語 珠算 水產大意 簿記)

- 一 募集人員 拾 名
- 一 講習年限 一ヶ年 (自四月至翌年三月)

鳥取縣告示第百二十三號

鳥取市材木町六〇番地中并由枝ニ對シ羊豚家兔商免許鑑机左記ノ通下附セリ

鳥取縣知事

八 田 三 郎

- 一 資 格 高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有スル滿十四歲以上滿十九歲未滿ノ身體強健志操堅實ニシテ將來水產業ニ從事セントスル青年
- 一 手 續 願書ニ履歷書、出身學校長ノ學業證明書、醫師身體檢查書ヲ添ヘ三月二十日迄ニ鳥取縣水產試驗場宛提出スルコト
- 一 試驗方法 三月二十五日(午前拾時)鳥取縣水產試驗場ニ於テ口頭試問ヲナス
- 一 給 費 講習中ハ食費トシテ月拾圓支給ス
- 一 其ノ他詳細ハ鳥取縣水產試驗場ヘ照會アリタシ

鳥取縣公報

每週 曜日發行

(休日ニ當ル時ハ翌日)

昭和十六年三月七日

第千二百十三號

一

(昭和四年四月十五日)

第三種郵便物認可

昭和十六年三月七日

鳥取縣知事

八 田

三 郎

- 一 免許年月日 和昭十六年三月三日
- 一 鑑札番號 第七六號

鳥取縣告示第二百十四號

因伯牛犢生產檢查規則第一條ニ依リ生產檢查ヲ左記ノ通施行ス仍テ昭和十五年十一月二十六日迄ニ生產シタル犢ノ所有者又ハ管理者ハ該犢ヲ所定ノ檢查所ニ牽付クベシ

昭和十六年三月七日

| 検査月日 | 検査区域 | 鳥取縣知事 | 検査場所 | 牽付時間 |
|------|---------|-----------|---------|-------|
| 三月七日 | 岩美郡面影村 | 鳥取縣知事 | 面影村雲山 | 午前九時 |
| 同 | 鳥取市 | 一 取扱家畜一 豚 | 鳥取家畜市場 | 午後一時 |
| 同 | 米里村 | | 米里村久末 | 午前九時 |
| 同 | 津ノ井村 | | 津ノ井村桂木 | 午後一時 |
| 同 | 宇倍野村 | | 宇倍野村中郷谷 | 午前九時 |
| 同 | 成器村 | | 成器村殿 | 午後一時 |
| 同 | 大茅村 | | 大茅村高木 | 午前九時 |
| 同 | 福部村 | | 福部村本 | 午後一時 |
| 同 | 大岩村 | | 大岩村大谷 | 午前九時 |
| 同 | 小田村 | | 小田村池谷 | 午後一時 |
| 同 | 本庄村、浦富村 | | 浦富家畜市場 | 午後一時 |
| 同 | 浦生村 | | 浦生村蒲生 | 午前十一時 |
| 同 | 岩井町、東村 | | 岩井町岩井 | 午後十一時 |
| 同 | 鳥取市賀露町 | | 鳥取市賀露町 | 午前十一時 |

鳥取縣告示第二百十五號

昭和十六年三月一日左ノ國民健康保險組合ヲ認可セリ
昭和十六年三月七日

- 一 組合ノ名稱 大伊村國民健康保險組合
- 二 事務所ノ所在地 入頭郡大伊村大字鹽上三百六番地

鳥取縣知事

八 田

三 郎

- 三 組合ノ地區 入頭郡大伊村

彙報

畜産練習生募集要項

昭和十六年四月入場セシムベキ畜産練習生ヲ左記ニ依リ募集ス
本場ノ位置 東伯郡赤碕町(山陰本線赤碕驛下車東南十五町)

養成目的

農村ノ中堅タルベキ青年ニ對シ質實剛健ノ氣風ト勤勞愛好ノ精神並ニ有畜農業智識ノ練磨ニ依リ農業經營合理化ヲ圖リ以テ時局下ノ青年自覺ト農業報國ノ精神ヲ涵養セシムトス
募集人員 練習生十二名
修業年限 一ケ年

出願

資格 高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有シ年齢十六歳以上二十五歳以下ノ男子
手續 入場願書 履歷書 戸籍謄本 醫師ノ健康診斷書
期日 三月二十日

證 衡

期日 本場ヨリ通知ス
場所 本場
科目 口頭試問
給ス 入場中ノ手當並ニ其ノ他ノ費用ハ一切本場ニ於テ支給ス
其ノ他詳細ハ本場ヘ照會アリタシ

一 取扱者

鹿兒島縣出水郡高尾野町長
原籍住所 不明

氏名職業 不明ナルモ一見朝鮮人ラシキ勞働者風

年齢性別 推定年齢三十七、八歳ノ男

相貌特徴 白骨トナリ居リ不詳ナルモ身長五尺四、五寸瘡型、長顔、頭髮六寸位オールバシクト思料

服 裝 紫紺色合着背廣服、鼠色小倉ズボン、水色人絹シヤツ杉下駄、白バナマ帽子

所持金品 赤皮中古蝦蟇口(在中ナシ)仁丹

死亡種別 厭世的餓死自殺ト思料サル

00941

死亡月日 昭和十五年八月初旬ト推定(屍體ニ西瓜種ヲ發見セリ)

取扱經過 昭和十五年十月十日高尾野町字大久保上ノ原ニ於テ發見シタルニ付假埋葬セリ

心當ノ向ハ該町長宛直接照會相成度

二 取扱者 鹿兒島縣川内市町

原籍住所 不明

氏名職業 不明ナルモ精神異常状者或ハ泥酔者ト思料サル

年齢性別 推定年齢二十五歳位ノ男

相貌特徴 身長五尺三寸位中肉、丸顔鼻稍高シ、頭髮五分刈

服 裝 純毛メリヤスズボン下着、黒小倉サルマタ

所持金品 ナシ

死亡種別 轢死

死亡月日 昭和十五年十二月二十八日午前零時頃ト推定

取扱經過 昭和十五年十二月二十八日午前十一時鹿兒島本線隈之城驛木場茶屋驛間木場踏切附近ニ於テ發見シタルニ付假土葬セリ

參考事項 隈之城驛川内驛間線路上ニ死者ノ着衣ト思料サル、國防色ズボン、メリヤス、黒短靴等發見シタリ尙該ズボンノポケット内ニ折口驛ヨリ鹿兒島驛行三等乘車券(十二月二十七日發行)一枚アリタリ

心當ノ向ハ直接該市長宛照會相成度

三 取扱者 鹿兒島縣薩摩郡高江村長

原籍住所 不明

氏名職業 不明ナルモ一見ルンペン風

年齢性別 推定年齢五十歳位ノ男

相貌特徴 身長五尺四寸位中肉、色白キ方、顔丸キ方、頭髮ハ白髪混リ、齒ハ上頤ニ五本下頤ニ三本アリ

服 裝 メリヤスシャツ、白ネル腰巻、毛糸シャツ、甚盤縞ネル襦袢(黒朱子ノ襟付)各一枚並ニ盲縞銘仙紺裏付袴二枚ヲ着シ黒帶ヲ絞メ鼠色セル單衣羽織ヲ着シ小サキ針金ニテ羽織紐ヲ代用シ紺ノ足袋ヲ履ク

所持金品 ナシ

死亡種別 水死(投身自殺ト推定)

死亡月日 昭和十五年十二月初旬頃ト推定サル

取扱經過 昭和十五年十二月二十三日高江村高江字池田脇川内川水際ニテ發見シタルニ付假埋葬ス

參考事項 死者ハ兩袂ニ相當大ナル石ヲ入レ居リ覺悟ノ自殺ノ如シ尙屍體ハ上流ヨリ流サレ來ルモノニ非ズヤト思料サル

心當ノ向ハ直接現村長宛照會相成度

00942

事 變 特 報



舉國一致
盡忠報國
堅忍持久

彙 報 第九十五號

大政翼賛會實踐要綱

- 一、臣道の實踐に挺身す。
- 即ち、無上絶対普遍眞理の顯現たる國體を信仰し、職分奉公の誠をいたし、ひたすら惟神の大道を顯揚す。
- 二、大東亞共榮圏の建設に協力す。
- 即ち、大東亞の共榮體制を完備し、その興隆を圖るとともに、進んで世界新秩序の確立に努む。
- 三、翼賛政治體制の建設に協力す。
- 即ち、經濟・文化・生活を翼賛精神に歸一し、強力なる綜合的翼賛政治體制の確立に努む。
- 四、翼賛經濟體制の建設に協力す。
- 即ち、創意と能力と科學を最高度に發揮し、翼賛精神に基く綜合的計畫經濟を確立し、以て生産の飛躍的増強を圖り、大東亞における自給自足經濟の完成に努む。
- 五、文化新體制の建設に協力す。
- 即ち、國體精神に基き雄渾・高雅・明朗にして科學性ある新日本文化を育成し、内は民族精神を振起し、外は大東亞文化の昂揚に努む。
- 六、生活新體制の建設に協力す。
- 即ち、翼賛理念に基き新時代を推進する理想と氣魄を養ひ、忠孝一本國民悉く一家族の成員として、國家理想に結集すべき科學性ある生活體制の樹立に努む。

目次

- 一 陸軍記念日を迎へて……………(社寺兵事課) 八頁
現下國難打開の大業を懷ふ……………(保安課) 〇頁
- 一 戦時下の電力と消費規正……………(保安課) 〇頁
- 一 農産物の價格と配給の統制に就て……………中央物價統制協力會議 辻 誠 三頁
- 一 三月の興亞奉公日に際して……………鳥取縣知事 八田 三郎 六頁
- 一 第三十六回陸軍記念日行事計畫……………(社寺兵事課) 六頁
- 一 鳥取縣青少年團の結成……………(社會教育課) 元頁
- 一 昭和十六年茶種作付面積……………(統計課) 三頁
- 一 東亞共榮圏の現段階【下】……………(振興課) 三頁
- 一 南洋在住邦人子弟の中等學校入學について……………(學務課) 三頁

力の後銃・債國よめ求

陸軍記念日を迎へて
現下國難打開の
大業を懷ふ



我が國が東亞の平和と獨立擁護の爲に國を賭して戦ひ、遂に萬難を排して東洋の日本から世界の日本へと躍進するに至つた日露戦役に於て、陸軍の戦勝を決定なものたらしめた明治三十八年三月十日の奉天占領から滿三十六年の歳月が流れて、今回事變下第四回目の陸軍記念日を迎へることとなつた。

今事變は昭和十二年に於ける事端の勃發以來、皇軍の勇戦奮闘によつてその戦果は赫奕たるものがあり、今や支那大陸の大半は皇化の光被する處となつて我が入紘一字の理想の下に東亞新秩序の建設近からんとし、尙進んで遠く西南太平洋を含む大東亞の共榮圈建設に邁進してゐるのであつて、眞に我が國威の昂揚輝かしきものと云はねばならぬ。

しかし一步眼を現下の國際情勢に轉ずる時、我が國の立場は實に國家盛衰興亡の轉機に立つてゐるのであつて、恰も四十年以

前の我が日露開戦當時の決死的な立場に髣髴たるものがある。

思へば四十年前の我が日本帝國は、世界にその存在すら認められない蕞爾たる一小島國に過ぎなかつた。面積にして五十倍、人口にして三倍、兵力は五倍を有する世界の強國ロシアと戦を始めることの如何に冒險であつたかと思はれる。

さればこそいよ／＼開戦の議が決められるに當つて、時の總理大臣桂太郎公は「勝味はない。唯大和魂で戦ふだけである。」といひ、樞密院議長伊藤博文公も「もし我が軍が破れて敵が侵入するやうなことがあつたら、及ばずながら武器を取つて身を卒伍に投じ、妻女も兵食の炊事にあたつて國民と共に海岸を守り、一歩たりとも敵を日本の國土に上げない決心である。」と語られたのであつて、我が國民一般の覺悟の如何に悲壯なものであつたかが想はれるのである。

即ち日露戦役はロシア帝國の東洋侵略が愈々進んで、遂に極東の平和を攪亂し我が國の獨立亦危險に曝されるに及んで、最早寸時も猶豫を許さぬ状態に立ち至つたので、我が國民は上下決然としてこの大國難に赴いたのであつて、その結果はあの大勝となつてロシアの東方侵略の鋒先を挫き、東亞の安定を確保することが出来たのであつた。

さりながら極東の平和を亂さうとする者はたゞロシア帝國のみではなかつた。世界の各地が白色人種達の手によつて處分し盡されて、残るは東亞の天地ばかりとなつた時、まづ老支那の弱体

00946

を看取した西洋諸國はその貪婪の爪牙を東亞に伸したのであつて既に白人の東洋侵略は三百年の昔に初まり、印度・ビルマ・印度支那半島及マレイ諸島に對する英・佛・蘭諸國の侵略は徳川時代末期までに完成したのであつたが、明治期に入つていよいよそれが東漸して、日本帝國を始め東亞の平和を劫かすに至つて遂に日露戦役となつたものであつて、日露の戦はロシアの魔手をこそ防止得たのであるが、他の白人種の野望は依然として繼續せられ、遂には大局に眼を養く支那蔣政權がその懐柔によつて白人種の走狗となるに及んで、今回の事變にまで擴大するに至つたものである。即ち今回の支那事變が決して支那そのものを敵とするものではなくて、その背後にある敵性第三國と戦つてゐるものであることは、事變當初から云はれてゐるところである。蔣政權はその傀儡であつて、眞の敵は東洋を侵略せんとする白色人種であつたのである。世界人口の半ばを占むる東洋人が、少數白色人種の爲に奴隸の如く頭使せられ、その國土はあげて蹂躪されやうとする東洋の危機に當り、東洋の先覺者であり指導者たるべき日本は、即ち毅然として立たざるを得なかつたのである。

今や戦は物資戦であり總力戦であつて、昔日の如く武力のみによつて勝敗を決することの出来ない現代に於ては、相當地域を一團とするブロック經濟の確立は當然の必要と云はねばならぬのであつて、世界の歩みはこれに向つて進んでゐる。我が大東亞共榮圈結成の目的も即ちそれであり、滿洲・支那はもとより印度支那半島や西南太平洋のマレイ諸島の國々は翕然としてこれに参加すべ

き當然性にあるのである。然しこれ等西南の國々は既に白色人種の蹂躪し盡す處となつて、東洋人種はすつかり去勢され、全く少數白人達の操縱に任されてゐるが爲、この經濟ブロック形成は容易ならぬ障礙を覺悟せねばならぬのである。

我が國は先づ日滿支を一丸とする新東亞を完成し、進んで西南諸國を包含する大東亞の共榮經濟圏を建設せんとする大東亞に邁進するものであつて、これによつて大東亞を大東亞人の大東亞たらしめることが指導者たる我が帝國に課せられたる使命なのである。吾々はこの大使命を完遂するでなければ、東洋の安定を期することは出来ず従つて我が日本帝國の安定をも期することは出来ないものである。

しかしこの業たるや實に偉大であると共に又甚だ重大なる危険を伴つてゐる。今や極東のみを残す殆どすべての世界を蹂躪してなほ僅かに残存する東亞をも併呑せんとする白色人種の野望に對して、敢然として戦を挑む大冒險であることを覺悟しなければならぬ。

かゝる大勢を考へる時、今次の事變は實に我が國運を賭する大事業であつて、四十年前我が國が毅然として立つた日露戦役當時の大冒險に類似してしかも尙一層大なる國難であることを痛切に感ぜざるを得ぬ。それは日露戦役が、強大國であるとは云へロシア一國を對手とするものであつたに對して、今回の大業は世界の大部分を掌中に把握してゐる白色人種を相手とするものであることを覺悟しなければならぬからである。

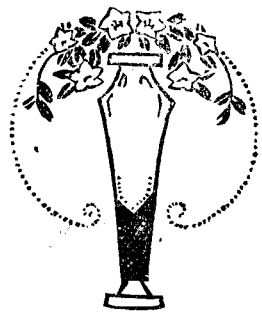
00947

幸にして今や我が國は、獨伊を樞軸とする中歐ブロックと同盟してこれに當ることになつてゐるのであるが、しかし何といつても頼むべきは自國の力でなければならぬ。

思ふに今年是我が皇紀二千六百年であつて、輝かしき世紀への出發の第一年であるが、この第一年は再び來らんとする世界戦争への第一年たらんとする危険性が多分に存在し、しかもその轉機は極めて近きやにさへ傳へられてゐる。

我々はこの陸軍記念日に當りて、日露戦争當時貧弱なる國力を以て強敵ロシアに對し敢然として戦を宣し、萬死よく國難を打開して東亞の日本を世界の日本にまで推し進めた先輩の苦衷と忍苦敢闘を懐ひ、刻下の情勢を凝視して、來るべき大東亞共榮圈建設の大業に對する大苦難を覺悟し、勇躍これが打開に邁進することの必要を痛切に感ずる次第である。

戦時下の電力と消費規正



最近時局の變遷に伴ひまして、平和産業方面の電力需要はやゝ減退して居るのですが、國防産業方面の電力需要は著しい

増加を來しまして、全体として見るとき電力は非常な増加の傾向にあるのであります。

元來我が國の工業用動力といふものは、第一次世界大戦前まではその五割までが蒸氣力に依つてゐたのであります。其の後追々電力の使用が増加しまして大正八年には工場用原動機總馬力の九割以上が電化されるに至つたのであります。

現在電力といふものが如何に國防上重要であり、且つ多量に必要であるかと云ふ例として實例を擧げて見ますと、航空機材としてなくてはならぬアルミニウムを作るにはアルミナを電氣分解して得るのであります。このアルミニウム一噸を作るに要する電力は二萬五千乃至三萬キロワット時でありまして、これは十六燭光の電燈百五十萬燈を一時間點火し得る莫大な分量であります。

又、石灰窒素肥料の原料であり、且つアセチレン其の他の誘導体として、或は合成燃料・醋酸・合成ゴム等の材料として極めて大切なカーボレットの製造に要する電力は一應當り三千キロワット時程であり、其の他電解法による合成アンモニア、マグネシウム、金屬ナトリウム、鹽素酸ソーダ、フェロシリコン、カーボランダム等の製造には應當り一萬乃至五萬キロワット時、タンクステンモリブデン、アランダム、電氣銅、苛性ソーダ等には三千乃至九千キロワット時を要するのであります。

このやうな状態であります爲に近來に於ける産業が電力を使用する増加状況を見ますと、昭和四年の使用量を一〇〇として昭和十年には一二四であつたものが昭和十二年には三一一となつて居り、又一般電力需要増加の趨勢を見ますと、大正九年には電燈數

00948

千六百萬燈七十萬キロワットであつたものが昭和七年には二千八百萬燈二百八十萬キロワットとなり、昭和十二年には四千七百萬燈四百五十萬キロワットに激増して居ります。

まつたく今日に於ける電氣事業は、平時に於ては重要基礎産業として又國民生活の必需として電燈・電車・電信・電話・ラヂオ・新聞・映画等文化生活を享有するための重要役割をなし、戦時には軍事的並びに經濟的廣義國防國家建設上の基礎動力基源として、絶對的使命を有して居ることは敢へていふまでもないのであります。

かくの如く時局と共に激増する電力需要に對應する爲には、あらゆる發電の増強への努力を拂はねばならぬのであります。我が國に於ける現在の「電力擴充計畫」は「生産力擴充計畫」に於ける計畫産業に屬して居つて、孤立した政策でなく他の計畫産業との綜合的計畫の下になされるを要し、又その一面「物資動員計畫」に制扼せられまして、たゞ電力ばかりを擴充することは出来ないのであります。

且つ現在我が國の發電は水力を基調とし、これに火力を使用して居るのであります。今日に於ける物資及び努力の不足並びに發電・送電設備の建設には一定の年限を要する事情からしまして必要に應じて直ちにあらゆる電力需要の増加に應ずることの出來る供給施設を行ふことは到底不可能なことなのであります。

従つて各種の電力需要に就ては充分その性質を検討し、苟くも目下の急務である事變遂行、高度國防國家の建設に特に急を要し

ない需要に對しては、その供給力と脱み合せて計畫的にその消費を抑へて行くことは實に已むを得ないところであります。重慶やビルマルートの爆撃に要する飛行機や爆弾を作る爲や、又東亞永遠の平和を確保する東洋新建設の爲には一般民需の方は一應は必要なものであつても使用を制限して、皆我慢して行かねばならぬのであります。

かうした理由から政府に於ては昨年の十月二十六日に逓信省告示を公布して十一月十二日から「電力調整令」に依る消費規正を實施して居ります。その内容について概略を述べると電力制限率では、其の地方々々に依つて一様ではありませんが東北地方南部では一割程度、本洲中部・中國及び四國の各地方では平均一割五分程度、北海道と東北地方の北部及び九州は一應制限外となつて居ります。これはその地域に於ける發電力と需要量とから脱み合せて、異常な濁水が襲來するとか、石炭の入手が豫想外に悪くなるとか、その他特別なことのない限りは大体この程度の制限率の範圍内でやつて行けるものと見透しによつて、或る程度の幅を持たせて定められたのであります。従つて實際の制限は電力消費者の協力と供給者の努力とにより成るべくこの制限より輕い程度で済むやうにしてあります。即ち各地方の逓信局長がこの告示の範圍内で實情に即して決定すると共に、敏速に臨機應變の措置を執り得ることになつてゐるのであります。現に都會地の工業地帯に於ては、最近の降水量等の關係から各期に於て實施せられた制限を幾分緩和せられつゝあることは各位御諒知の通

00949

りであります。
以上は主として工場等の多量電力消費の制限であります。一般の電燈についても昨年七月の逓信省告示に依つて、メートル制のものは二十燈以上をつけるもの、又定額制のものについては三百二十燭光を超えるものについて、一定の條件の下に大体その二割を節約することになつて居ります。又ネオンサインや廣告燈、その他電氣風呂などはゆるき奢侈・裝飾用のものについては、昨年一月以來引續き禁止されてゐることは御承知の通りであります。

中央物價統制協力會議 辻 誠



農産物の價格と

配給の統制に就て

しかし電力の消費を節約してその合理化を図ることは、時局と共に感々必要であること上述の通りであります。右のやうに法律で定められてゐるものでなくとも、例へば家庭に於ける不必要な電燈は手まめにスイッチを切るとか、又は就寝中の電燈はなるべく消燈するとか、すべて細かいことにも注意して、一層照明能率の増進・合理化について研究せられたいものであります。

昭和十二年度に於ける全国の消費電力量は約二百七十億キロワット時でありましたが、今假りにその一割を節約し得ると假定すれば實に約五十萬キロの發電所が建設されたと同様な効果があるわけでありまして、工場等に於ける電力の節減はもとより、一般家庭に於ける電燈などの節約についても各位の自覺ある協力を希望する次第であります。

只今朝野を擧げまして、食糧問題の新しい方向を見出すべく盛んに論議がされて居ります。農村と都市とを問はず、食糧の増産や節米と云ふ問題に熱心に活動して居られるのであります。一体食糧を自國の經濟圏内に確保致しますことは、高度國防國家建設のため最も必要な條件であると存するのであります。ところが、總じて戦時中は農産物の消費を増大致して参り、その不足を助長して來るのであります。一方、農業生産の方は勞力や資材の不足に依りまして、生産の確保さへ困難な傾向を持つのであります。其處へ自然的な災厄が見舞つて参るのでありますから、問題が簡単に解決されないものであります。其處で農産物の價格を高めて増産を刺激したのが宜いではないかと云ふやうな強い主張が出て参るのであります。

農産物價格の公定の範圍も非常に擴大されて参りまして、元來價格の公定が非常に困難だと云はれて居ります生鮮食料品の公

00950

定價格さへも定められて來て居るのであります。此の定められた公定價格を今後色々な點に於て直して行く、是正して行くと思ふ必要があると思ふのであります。急激な價格の騰貴の趨勢を出来るだけ早く抑制するために、應急的に價格を決定したと云ふやうな場合もあるものであります。が今後は、各品目の價格の基準となり得る生産費を充分調査致しまして、生産費が價へるやうに適正に價格が形成されなければならぬと思ひます。

又生産配給統制とか、或は消費者とか、或は生産者の價格とか云ふやうな各段階に分けられました公定價格も、配給機構の再編制と共に直さなければならぬやうになつて参るのであります。又地方的に定めて居ります價格が、お互ひ同志の間に均衡が取れない、釣合ひが取れないと云ふために、物資の流れが妨げられてゐるやうなものがあります。斯う云ふやうな點も是正しなければならぬ譯であります。又物資相互の間の價格の釣合ひが取れないものがあるのであります。

農産物と工業生産物との間に釣合ひが取れてないと云ふのは勿論であります。が、農産物の相互の間に不均衡がありますと、是非戦時經濟に必要な農産物を作りたいと申しまして、農家が作付を致すことを止めてしまふ譯であります。又農産物と其の製品、例へば小麦粉と小麦との價格の間に不均衡がありますと、出廻りが偏つて参るのであります。

又農産物は、非常に生産統制を強化することが困難な性質のものでありますから、急いで作る必要のないものと云ふやうなものも成るべく作らないやうにすると云ふので、色々な農産物の間

の順序を定めまして、不急不要のものは成るべく價格を抑へて行くつて、生産をさせないやうにすると云ふ必要もありません。何しろ急速度に全体の經濟が變化しつゝあるのでありますから生産、配給、消費の各段階の變化に應じて公定價格の是正を致しまして、物資の需給を圓滑に圖つて行かなければならぬのであります。併しながら、此の公定價格を是正する場合に當りまして考へなければならぬことは、農産物が國民生活の必需品であることでもあります。

農産物の騰貴は、多數の國民の生活を壓迫して生活を不安に陥し入れる。引いて賃金の騰貴を起し、生産費を高め、低物價政策を堅持すると云ふことに對しまして大きな障害となつて参るのであります。

今日のやうな財政の状態では、此の悪循環は加速度的に進行する虞れはないと云へないのであります。従つて他の條件に對しまして徹底的に考慮を致しませんで、價格の騰貴だけに色々なものを期待すると云ふやうなことは、大きな危険があると云ふことを考へなければならぬと思ふのであります。

斯う致しますと、農産物を作るに於きまして之を確保増大して行かうと云ふやうなためには、非常に色々な悪い條件がある。又一方、價格を高めると云ふことも非常に考へて行かなければならぬと云ふことになりましてどうすれば宜いかと云ふことになつて居ります。

00951

に轉換しやうともピクともしないだけの用意をすることが必要だと思ふのであります。私は此の際に、全國民は大きな決意の下に一つの方向に協力一致して進まなければならぬと思ふのであります。と云ふのは、詰り農産物の生産、配給、消費の各段階に新しい体制を適用致しますると共に、此の各段階を綜合致しまして一貫した方針を定め、同一歩調で進むやうに致さなければならぬと思ふのであります。

價格政策も、斯うした事に織込まれて動いてこそ初めて効果があるのであります。生産、配給、消費の各段階がバラ／＼な状態でありましたらば、價格政策も情勢の變化に追はれると云ふだけで少しも効果を擧げないと云ふやうなことになるやうにも限らないのであります。

農業生産の新体制に付きましては各種の方法があるのであります。最も澤山の食糧生産を致して居ります内地の既に耕された耕地の生産條件を、根本的に改めると云ふことに重點を置いて欲しいと存するのであります。

自作農家の設定、共同作業、耕地の集團化、最高技術の適用、小作制度の改善等を行ひまして、生産能率の高い農家を創設致しまして、生産費を低減すると云ふ方法を取らなければならぬのであります。

又消費の新体制に付きましては、農村に於ても都會に於きましても、食糧の豊富にあつた時代の生活様式其の儘を持続出来ないと思ふことを、充分覺悟しなければならぬと存するのであります。

00952

と云ふやうな現象を來して参ります。さうして買溜や賣惜しみや闇相場と云ふやうなものも起きて参るのであります。之では配給機構そのものが、罪惡を助長すると云ふやうな役目を果たすと云ふ皮肉なことになるのであります。

斯の如き配給機構の悪い點を直さないで價格だけを上げて、決して物は動かないのであります。勿論それは絶對的に價格が安いために生産されない、出廻らないと云ふことがありますが少くとも配給機構が適當でないために、價格が維持出来ないと云ふ場合を見通してはいけないと思ふのであります。

其處で配給機構を是正する必要のために、最も重要な點に付て二つ三つお話ししたいと存するのであります。

先づ第一に配給の組織化、計畫化と云ふことが考へられるのであります。主要食糧の確保は國防國家經濟の根幹でございますから、麥や米や其の他に於きまして國家管理が行はれて居ります。

斯うした主要食糧の集荷と云ふことは、生産者團體を通ずると云ふ制度が確定して参つて居るのであります。或は青物、果物に付きましては出荷統制が強化して参りまして農會を通じて出荷の指揮が行はれて居るやうな状態でございます。農産物の取引も自由主義の原則を脱却致しまして、一定の組織を通じまして一定の數量を一定の時期に一定の方向に流して行くと云ふやうな傾向を取らなければならぬのであります。

今日のやうな物の不足の時代に、一つのところに餘程の荷が集りましたり、運輸機關を借りて活動しなければならぬ時代に少しの價格の違ひのために遠隔の地に運ぶと云ふやうなことは避

元來日本程食糧の豊富な國は少いのであります。今日食糧に不足を來して居ると云ひましても、贅澤を止めたり、或は一方に偏つて食糧が供給されてゐると云ふことを直し、又農林水産食糧を綜合的に合理的に、價格的に消費すると云ふことを考へて行きまするならば、まだ方法があると思ふのであります。

併し此處に特にお話ししたいのは配給の新体制のことでありまして、生産と消費を結び配給の團體は、農産物にありましては、工業生産物の場合よりも一層價格統制の運用關係が深いのであります。

農産物の配給機構は實に複雑であります。それは農産物の特質や生産、消費、それらの状態の相違から來るのであります。生産者も消費者も經濟規模が非常に小さくつて非常に澤山存在して居ります。而も取引の關係は自由で統制がなかつたのであります。

又農産物は腐敗し易いものゝ上に、豊年と云ふこともあり凶作と云ふこともありあります。又一定の時期に生産されまして、經濟力の豊でない農業者の人々は、一時に之を市場に投げ棄てると云ふやうな状態であつた譯であります。

斯うしたことから、之を直すために生産者からも消費者からも組合組織が出来て参りまして、配給組織は複雑な上にも複雑を加へて参つたのであります。

斯うした配給組織の状態でありますると、物が少しでも不足すれば大混亂を來して來るのであります。物が偏在しないで公正に分配され、而も合理的に消費される状態でありますれば充分足りると云ふ時でも、配給組織が適當でない、必要以上に不足す

けたいと思ふのであります。消費者に於かれましたも、從來の買ひ方の形式を變へて行かなければなりません。詰り一定の店舗へ歸屬する、或は切符制と云ふやうなことに依りまして計畫的な配給を受ける、或は隣組に組織化されると云ふやうな風に致しまして計畫化、組織化の傾向を取らなければならぬのであります。

第二に配給の經費を低減しなければなりません。自由主義時代に於きましては、商業者の人々は利潤得主義と云ふものを主眼として居りましたが、最近では商業者の方々は之を掃して手數料主義に轉換しつゝある譯であります。而も其の手數料も一層低減しなければならぬのであります。又商業利潤がなくなつて参りますれば、從來のやうに多數の段階の業者の人々を置くこと云ふやうなことは出来なくなつて参ります。詰り其處で卸、仲買、小賣等の各段階を適當に綜合したり或は人數を減らしたりと云ふ風なこと整理が行はれて居るのであります。

斯うして多大の犠牲を拂はれました都市の配給業者の方々は新体制を實行しつゝあるのであります。農村の方に於きましては、集荷が生産者團體に壞される傾向を取ると云ふことであります。併し工業生産物の程度には、規格の單純化を生産に適用することが出来ないと云ふのが農産物の特質であると思ふのであります。

第三に規格の單純化が必要だと存するのであります。規格の單純化と云ふことは、元來生産の段階から定まるべきことであります。併し工業生産物の程度には、規格の單純化を生産に適用することが出来ないと云ふのが農産物の特質であると思ふのであります。

00953

す。併しそれにしても、農業生産の品種の選擇方法を私の好み、或は外見と云ふやうなものに置かれず、多收穫と云ふものに重點を置きますとするならば、それが結局は單純化すると云ふ基礎が生れて來ると思ふのであります。

一層大切なことは、農業生産者は從來ございませぬ夥しい數の銘柄、等級と云ふものに對して、長く固執すると云ふ傾向を止めて頂かなければならぬと思ふのであります。又消費者も特殊の好みや外見に無上の喜びを感じると云ふやうな、官能の満足と云ふことに付ては一擲して頂くと云ふことにしなければなりません。精彩な都會的な文化よりも、物質本位の達ましい文化の創造に向つて努力して頂かなければならぬと思ふのであります。

從來は銘柄存在のために荷造、輸送、配給、手續等に多くの人手と經費を要したのであります。之を考へますと、之等のことは總て一擲して頂くと云ふことに希ひたいのであります。

まだ色々お話しすることがあるのであります。要するに、生産者も消費者も配給の關係者も、皆んな一心同體になつて同じ方向に進むと云ふことが必要であります。些細な目前の利益や、些細な好みや些細な不便と云ふものは忍んで、公益優先の氣持を育くむことが必要であります。今日の日本國家が、大和民族が必要とする建設への要求に即應するやうに体制を整へることが必要であると思ふのであります。

(時局下の農業經營講座を速記せるもの)

X X X

三月の 興亞奉公日に 際して

鳥取縣知事

八 田 三 郎

帝國議會で大政翼贊會のことがいろいろ論議せられました。その新聞記事を読んで居ますと多數國民の中には、大政翼贊會がケチをつけられて居り升ばかりでなく、大政翼贊運動そのものも何だか氣が抜けて來た様に考へてゐる者が無いとも限らんと思ふのであります。それは大間違であり、絶対にあつてはならぬ事でありませぬ。

翼贊會の豫算に修正の動議を出した人達でも新體制には絶対賛成であり、職域奉公、臣道實踐には萬腔の賛意を表してゐるのであります。議會も法律論や何かで大分揉みまましたけれ共結局翼贊會本部の組織を少し變へるといふ様な意見が付いて豫算は通過したのであります。翼贊會の地方組織などは何等の變更を見ないの

00954

であります。二月の中旬に本縣の各郡市で翼贊會支部の結成式が嚴肅に擧げられ私も出席したのであります。何處も出席者は實に涙ぐましい程眞剣であり、私は實に感激したのであります。三月初旬には全町村の結成式を擧げられ愈々實質的活動に入ることになりました。五十萬縣民眞に一體となつて此の非常時局に際し臣道實踐に邁進致したいと存じます。

濕つぽい冬が終つて愈々明るい春が参ります。私は食糧増産の事を申し上げたい。本縣では今年の生産目標を米が七十六萬四千石麥類が二十萬石、甘藷、さつまいもが八百二十七萬貫、それから馬鈴薯が二百五十萬貫といふ風に定めて之を先づ郡市に割當て、郡は町村に、町村は部落に割當て、更に米は一戸一戸の農家に迄割當て責任數量を定めることに致しました。

この増産を確保する爲に部落毎に耕種改善規程を作りまして部落全體が一齊に成績を擧げる仕組でやつて行き度いと思つて居ります。又販賣肥料が少い時代でありますので施肥の改善と自給肥料の改良増産に力を入れ度いと思つて居ります。それから病害虫の初期發見と初期に於ける征伐が大切であります。今年は山陰地方は浮塵子が發生する惧があると警告されて居りますので注意しなければならぬと思つて居ります。其の他休閑地や空閑地の利用や荒廢桑園の改植や不急不要作物の自肅的轉換といふ様なことに力を注ぎ度いと思つて居ります。

そこで是等の趣旨を政府から個々の農家に迄徹底させる爲に農業技術總動員の體制を整へることになりました。農林省に食糧増産中央本部が出来、先達て縣に鳥取縣食糧増産指導本部を作りま

した。これから各郡市町村に食糧増産指導部を作り各部落に食糧増産挺身隊を作る段取になつて居りまして、國から命令が出ますと一糸亂れず直に一戸一戸の農家に届く仕組なのであります。幸ひ本縣にはどの町村にも技術員が居りまして唯今、今年の増産計畫完遂の爲協議を重ね張つて居ります。一般縣民の間にも増産の氣運が漲つて居る様であります。農家は勿論のこと、市街地の方々も、女の方も又生徒や兒童も夫々分相應に此戰時下の重要國策たる食糧増産に奮闘せられる様にお願ひ致します。

米の現在高調、米が今どれ程あるかといふ調は隨時行つて居り御承知の様去年は全國一軒残らずこの調をやつたのであります。今度米以外の重要物資、木炭、大豆、味噌、醬油、それから織物類、タオル、タオル地、棟炭、豆炭、鐵丸釘、針金、鐵線、亜鉛鐵板といふ物の現在高調をする様になりました。丁度其第一回の調を今朝の午前零時現在ですることになりました。尤も之は全國民に對してやるのではなく以上申上げた品物を大口に取扱ふ者に就てだけやるのであります。戰時經濟を進める上に非常に重要なことでもあります。關係の方々には是非正確な處を明後三日の期限迄に申告して頂き度いと存じます。

國民學校といふ新體制、青年學校教育の義務制が愈々來月から初まることになりました。趣旨は充分皆様も御存じの事と存じますが、これでお國は強くなるのだといふ意氣込で参り度いと存じます。

産業報國運動、農業報告運動と並んで商業報國運動が強く叫ばれて参りましたことは洵に心強いことで御座います。昔から士魂

00955



第三十六回 陸軍記念日行事計畫

來る三月十日の第三十六回陸軍記念日に當り、縣、聯隊區司令部、市役所合同主催の下に次の通り記念行事を実施することゝなつた。

默禱 午前九時三十分

一分間のサイレンにより、各自その位置に於て、又行進中の者は停止して默禱し、過去の戦役に於ける戦死者に對して追悼を行ひ、且つ皇軍將兵の武運長久を祈願する。

分列 午前十時—十一時

縣、市、聯隊區司令部擔任の下に舊城外堀端に於て在郷軍人、警防團、男女中等學生、青年學校の順序により分列式を行ふ。

護國神社祭 午前十一時—十二時

前記分列終了順序により、警察前、縣廳前、大工町を経て護國神社に到り、護國神社祭を行ふ。

遺族慰問 午後隨時

在郷軍人會員は直會を携行して遺族を慰問する。

陸軍墓地參拜 隨時

中部四十七部隊に於ては隨時陸軍墓地に參拜する。なほ市

統制法規は

統後の軍紀

(二月一日ラヂオ放送)

商才と申しますが從來の營利本位といふ考へ方は今戦時下の統制經濟とは全く相容れぬものでありますから、商業者の方々は物の配給といふ天職を判つきりと自覺せられまして臣道實踐に邁進して頂き度いと思ふのであります。然るに本縣に於きましても經濟警察の御厄介になる者が却々跡を絶たないのは困つたもので御座います。商會議議所にも相談部がありますし、又各警察署にも經濟相談部がありますから分らぬ事はどしどし是等の機關を御利用になつて、間違の起らぬ様にして頂き度いと存じます。

本縣の水産方面はどうも他府縣より見劣りがするのであります。食糧増産の意味と品質向上の意味からしまして此の四月から煮乾鱈、開乾鱈、鰯、石花菜、おごのり、あみぐさ、いぎす、鱈搾粕、魚粕粉末、魚油等の縣營検査を初めることになりました御承知置きを願つておきます。

今日は再出發第二回目の興亞奉公日で御座いました。縣民皆戰闘員の實績が各所で大いに擧がつたことと存じます。愈々激烈として職域奉公に揮身の力を出すことに致しませう。

民も隨時參拜すること。

傷病兵慰問 午後一時—三時

愛國婦人會、國防婦人會に於ては兩團隊協定の上陸軍病院に傷病兵を慰問する。

當日一般官公署並びに市民は國旗を掲揚すること。

當日雨天の際は分列は取止められるが其の他の行事は豫定通り實施される。尙右の外に講演會若くは座談會等も計畫せられてゐる。

鳥取縣 青少年團の結成



今や世界は有史以來空前の動亂時代であつて、各國では外に其の隆替を賭して戦ふと共に、内に必勝の体制を確立するため懸命の努力をなしてゐる。此の秋に當り、我國は東亞の新秩序、更に進んでは世界の新秩序を建設すべく聖戰の火蓋を切つてから此處に第五年目を迎へたのであつて、肇國以來未曾有の重大局面に遭

遇してゐるのである。

肇國の大理想に基いて此の大業を成し遂げるためには、萬難を排して物心兩面に互り國家の實力を充分に培ひ、且つ其の勢力を最高度に發揚すべく國家生活の全部面に亘つて体制を整備することと喫緊の要務である。即ち高度國防國家体制の建設とは實に自主的國家体制の建設を意味するものであつて、肇國理想實現の先決條件である。

此の意味に於て青少年の教養の向上、訓練の發達は、國本に培ひ國力を養ふの基礎であつて、其の体制を國家の要請に即應して整備強化することは蓋し今日要務中の要務である。

之がため、既に本報第八十九號に記した如く我國の青少年團中最も有力な大日本青年團、大日本聯合女子青年團、大日本少年團聯盟及び帝國少年團協會を統合した強力なる新團体「大日本青少年團」が、希望に輝く紀元二千六百年の新春一月十六日日本青年館に於て結成せられ、此處に我國青少年の皇國民としての實力を一層鞏固にし、且つ之を高度に發揮せんがために青少年の團體的生活体制に向つて機構と内容を整備することになつた譯である。

而して鳥取縣に於ても大日本青少年團の地方團たる「鳥取縣青少年團」を結成することとなり、去る四日午前十時半から鳥取市西町縣立鳥取圖書館講堂に於て結成式を舉行、大日本青少年團に即應して地方團としての新發足をなすことになつた。

更に此の縣青少年團の下に郡、市、町村青少年團、或は青年學校通學區域内に居住する男子青年を以て組織する青年團と女子青

00956

00957

年團及び小學校尋常科第三學年以上の兒童を以て組織する少年團等の單位團も設置せられ、それ／＼の團體に即した各種事業を行ふことゝなつた。

因に新生鳥取縣青少年團役員の陣容を示せば次の通りである。

- | | | |
|-----|--------------|-------|
| 團長 | 鳥取縣知事 | 八田三郎 |
| 副團長 | 鳥取縣學務部長 | 小林誠一 |
| 顧問 | 鳥取高等農業學校長 | 岡村精次 |
| | 鳥取聯隊區司令官 | 大井川八郎 |
| | 松江聯隊區司令官 | 加村義政 |
| | 松江地方海軍人事部長 | 東郷二郎 |
| | 鳥取縣會議長 | 黒田藤重 |
| | 鳥取市市長 | 井上光美 |
| | 鳥取市市長 | 西尾常彦 |
| | 鳥取縣町村長會會長 | 木下靜造 |
| | 鳥取縣教育會副會長 | 林重浩 |
| | 鳥取縣神職會副會長 | 小林一俊 |
| | 鳥取縣佛敎會副會長 | 中村雲超 |
| | 鳥取縣農會會長 | 谷口源十郎 |
| | 鳥取縣產業組合聯合會會長 | 小川貞一 |
| | 鳥取縣水産會副會長 | 淺沼喜雄 |
| | 鳥取縣商工聯合會頭 | 山本鐵太郎 |
| | | 米原章三 |
| | | 三木順治 |

審議員

- 鳥取縣青年學校教員
- 鳥取縣師範學校長
- 鳥取縣女子師範學校長
- 鳥取縣女子師範學校長

- 三橋豐藏
- 岡村精次
- 齊藤儀重
- 岡野徳右衛門
- 西村秀碩
- 竹本定次郎
- 谷口惠五郎
- 田中義雄
- 谷口鹿藏
- 田中かね
- 椿友太郎
- 中村辰雄
- 松本政一
- 古徳智
- 佐々木通
- 三上留吉
- 芝田義徳
- 毛利年子

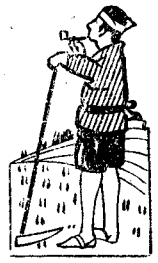
外に參與六拾名が設けられてゐる

× × ×

00953

昭和十六年

菜種作付面積



本縣に於ける昭和十六年菜種作付面積は、本年一月十日現在の調査に依ると八百三十六町一段となつてゐる。之を前年の作付面積に比すれば百二十四町四段(一割三分)を減少してゐる。之は他の作物に轉換したに依るものと認められる。尙ほ之を各郡市別に示すと次の如くである。

| 郡市別 | 昭和十六年作付面積町段 | 前年作付面積町段 | 前年比増減 |
|-----|-------------|----------|--------|
| 總數 | 八三六、一 | 九六〇、五 | △二二四、四 |
| 鳥取市 | 三五、八 | 三〇、三 | △五、五 |
| 米子市 | 二〇、六 | 一八、六 | 二、〇 |
| 岩美郡 | 二一、五 | 一九、五 | 二、〇 |
| 八頭郡 | 三一、四 | 五〇、三 | △一八、九 |
| 氣高郡 | 八六、三 | 九八、六 | △一二、三 |
| 東伯郡 | 五一七、四 | 五八三、二 | △六五、八 |
| 西伯郡 | 一一一、七 | 一五一、二 | △三九、五 |
| 日野郡 | 一一、四 | 八、八 | 二、六 |

東亞共榮圈の現段階 (下)



◆ 共榮圈各地域の一体的關係
次に、日滿支經濟建設要項骨子は又、勞務・金融・交易・交通の四項目についても其の基本方針を明かにしてゐる。
産業分野が既述の如く決定されたとして、これに基いて樹立された各地域の建設計畫を實施して行くに必要な資金勞務及び技術をどうするかといふことが重要な問題となる。ところで、勞務についていへば、各地域がその有する勤勞力を全体の向上のために貢獻せしむべきことは云ふまでもないが、東亞共榮圈の經濟が世界經濟に對して優位を確保するためには、勞務及び技術の質的向上が是非とも必要である。然るに滿洲及び支那の經濟は從來極めて低位の水準にあつたために優秀なる技術及び勞務は餘りもつてゐない。だから滿洲及び支那においても今後大いに技術者及び技能者の養成に留意しなければならないのは當然であるが、差し當

00959

つてはその供給を日本に仰がざるを得ない状態にある。それ故に「骨子」では次のやうにいはれてゐる。「皇國は勞務技術の新しい体制を整へ、勞務者の心身の鍊成、科學教育の徹底、勞働生産の高度化、技術者及び技能者の養成に努め、滿洲及び支那に對しては産業開發または經濟復興に必要とするよき技術者及び技能者を提供す。尙、滿洲國の必要とする勞務者に關しては北支勞務者の計畫的入滿並びに定着をはかると共に、國內よりの充足方策を確立し、特に鑛工業生産における勞務管理の刷新確立に努むべき旨の方針が決定されてゐる。右のうち、滿洲國からの勞務充足方策をはかること及び鑛工業の勞務管理の刷新確立に努めるといふことは、従來の滿洲國の勞務政策に新局面を展開せしめるものと思はれる。

資金については、日滿支の資金は三國の蓄積によるべきであること、これがため日滿支三國は蓄積の増加及びその活用をはからねばならぬとして、資金調達のアウタルキーが闡明されてゐる。勿論、資金調達のアウタルキーといつても各地域がそれ／＼アウタルキーを行ふといふ意味ではなく、滿洲支那に於ける重要産業の開發に所要の資金は日本がこれを援助するのである。尙、日滿支を通ずる産業計畫の實施を可能ならしめるためには、計畫的に資金の配分を決定し、かつこれを實行する金融機構を持たねばならぬし、また三國間の國際決済上の互助的關係を設定しなければならぬとして、東亞新体制に對應すべき金融機構の新体制樹立の必要が暗示されてゐる。

交易に關する基本方針に於て注目すべきことは、各國が自由に

物資を交易し得ることを建前とする自由貿易の世界經濟が崩壊したことを確認し、従來の商業的貿易主義に訂正を加へる必要あることを提唱してゐることである。即ち各地域、各經濟圏より自らの計畫的生產に必要な物資を獲得するために、他の必要とする物資を供給し、日滿支三國は勿論、共榮圏の中の各地域は相互一体的な關係に貿易を規制して行くところの「生産主義的貿易」が行はねばならぬことを規定してゐる。

交通については、日滿支三國及び共榮圏内に於ける物資交流の緊密化に伴ひ、また共榮圏の安全を確保するために三國の交通關係は綜合計畫的に整備運営せられることを必要とし、これがため三國相互間の海陸運輸施設の連絡を促進し、船舶の飛躍的増加、航空の統制連絡、電氣通信施設の整備擴充をはからねばならぬとされてゐる。

◆ 支那經濟の内部構造再編成

日滿支經濟建設要項骨子は右に述べた如き基本方針により、およそ十年の計畫をもつて東亞經濟の新秩序を完成することを意圖してゐる。紀元二千六百年はこの十年計畫の第一年度である。われ／＼は内に於ては革新に伴ふ苦惱を克服すると共に、外より來る如何なる壓迫脅威をも恐れず、この既定方針の完遂に邁進すべきことは改めていふまでもない。たゞ、この十年に亘る大事業を完遂するためには周到なる調査に基く合理的な具體的計畫の策定が何よりも必要である。

人は往々にしてその懐く理想乃至目標の壮大さに幻惑されて、これが實現のための具體的方策において健實味を喪失し勝ちであ

るが、この東亞共榮圏の建設要綱の實現に當つては、決してさういふことがあつてはならぬ。

改めていふまでもなく、一つの經濟体制は歴史の産物であつて一定の根據があればこそさういふ体制を取つてゐるのである。従つて、この歴史的に成生した一つの經濟体制を再編成するといふことは決して容易な業ではない。われ／＼は先づこのことを充分銘記しなければならぬ。日本經濟がその近代の様式への發足以來英米依存であつたと同様に、支那經濟もまた阿片戰爭以來次第に英米の半植民地化され、漸次英米依存の体制に編成替へされて今日に至つてゐるのである。それ故に英米依存よりの脱却は支那に於てもまたその國內經濟体制の再編成を必至ならしめる。支那の經濟体制を根本的に再編成せずしてこれを英米依存より脱却せしめるためには、支那が従來英米に輸出してゐた商品が、東亞共榮圏の内部に於てその市場を見出さなければならず、また支那がこれまで英米市場から輸入してゐた商品が東亞共榮圏の内部(實質的には日本)から確保されなければならぬ。然るにかゝることは日本經濟の發展段階並びにその内容が英米のそれと異なるが故に決して右から左に實現されるものではない。

この點で東亞共榮圏の確立過程に占める支那の地位は、四十年に近い長年月を経て日滿一体化の基礎工作の進行してゐた滿洲のそれとは異らざるを得ない。従つて支那を眞に東亞共榮圏の一環たらしめるためには、それによつて必然的に起る支那經濟の内部構造の變革を、如何なる方面に、如何なる程度に導いて行くかといふ點に慎重な用意を持たねばならぬであらう。

けだし、東亞共榮圏の確立の目的は、單に日本の必要とする資源を東亞の各地域に於て把握するといふことにあるだけでなく、「建設要項骨子」ではいはれてゐるやうに、日滿支三國の一体的協同により共存共榮、全般の福利を増進するにあるからである。それ故に、支那をして、英米依存を脱却せしめることが現實に支那民衆の福利の増進に資するといふことを明かならしめる方向に於て、支那經濟を再編成して行くことが是非とも必要である。勿論何等の犠牲のない革新はあり得ない。差し當り支那經濟が英米依存を脱却するならば、これまで英米資本の手先となつてゐた老大な買辦的商業資本はその活動の地盤を失ふであらう。これは當然のことであつて誠に已むを得ないかういふ犠牲に對しては大膽に目をつぶり、飽くまでも基本的な支那民衆を捉へる方向に進まねばならない。

◆ 具體化實踐の第一年度

更にまた、日滿支及び南方圏の如き廣汎な地域に亘つて綜合的計畫經濟を行ふ場合は、各地域の經濟の發展段階の相違といふことを充分考慮に入れなければならぬ。經濟の發展段階が異れば、目標は同一であつても、その目標達成のための具體的な實施方法は異らなければならぬ。

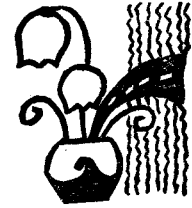
日本のやうな高度に發展した經濟体制の下に於ては極めて容易に實施される計畫であつても、滿洲支那の如き遅れた經濟体制の下にあつては、必ずしも容易に行はれるものとは限らない。例へば、日本に於ては相當な効果も擧げてゐる公定價格制が、流通過程に對する政府の干渉監視が行き届かぬ滿洲や北支では、容易に

00961

實質的な効果を擧げ得ない如きはこれである。實施計畫に形式的綜合性を與へるに急なる餘り、各地域の經濟的發展段階の相違に對する考慮を怠るときは、計畫の机上プラン化を來たして實効を擧げ得ないといふ點に特に留意する必要がある。

最後に、かゝる廣域經濟を運営して行くためには、一切をわれ／＼日本人だけで擔當するといふことは不可能である。そこで各地域に於ける土着の資本並びに勞働力の自發的協力を促進しなければならぬ。勿論、東亞共榮圈の指導國は日本であるから、資本及び技術の基幹部分を日本が握るといふことは、當然過ぎるほど當然のことである。然し、このことのために東亞共榮圈確立のための各地域の土着資本並びに勞働力の自發的創意を壓殺するやうなことがあつてはならぬ。英米資本の支那支配の基本精神は徹底的にこれを排撃しなければならぬが、彼等が極めて少數の人々をもつて、巧妙に支那の土着商業資本を組織してゐたその方法については大いに學ぶべきものがあるであらう。幸ひ、土着資本の協力促進については既に早くから留意されて、昨年三月既に支那の占領地區に於ける軍監理工場の返還方針が決定され、着々實施に移されてゐることは東亞共榮圈建設の大目的に鑑みて非常に意義深いことである。昨年十一月末調印を見た日支基本條約の附屬議定書に關する日支兩國全權委員間の諒解事項のうちにも、軍監理中の鑛山、工場及び商店を合理的方法により速かに中華民國側に移管すべき旨が規定され、また日華合辦事業にして固有資産の評価、出資比率その他につき修正を要するものもある場合には、これが是正の措置を講ずる旨が規定されてゐる。これによつて、日支

間の經濟提携は更に一段の前進をなすべきことが期待される。これを要するに、日獨伊三國同盟を轉機として、東亞經濟新秩序の建設は全く新たな段階に入り、大東亞共榮圈の範圍内に於て高度の自給自足性を持つ強力なる國防体制を確立することが絕對不可欠となつた。また英米依存の放棄は、その結果として日滿支經濟の内部構造及びその相互關係の根本的再編成を必至ならしめるに至つた。東亞共榮圈の經濟新体制の確立はこの二つの要請の綜合の上にその輪廓並びに基本方針が決定された。われ／＼は今やこの基本方針の具体化並びに實踐の第一年度に立つてゐるのである。



南洋在住邦人子弟の中等學校入學について

東亞共榮圈の確立に關する國策の進展と國際狀勢の變換に伴ひ南洋在住邦人の使命は愈々重大なるものと云はねばならぬこの秋に膺り南洋に於ては外交上の理由等によつて中等學校を設置することが出来ないため、指定小學校を卒業した兒童は總て内地の中等學校に歸還して進學しなければならぬ事情にあるため父兄の不安は深刻なるものがあつて、多年開拓した販路と業務を抛擲して歸國するの止むなきに立ち至るものも少くないのは甚だ遺憾なことである。

00952

依つてこの南方發展の障礙を除去し、且つ内地に於ける高度の日本の教育を子弟に施して熱烈なる祖國愛を涵養し、皇國民の自覺を深め研鑽を積ましめて、父祖の業を繼承發展せしめることは我が南方政策の強化遂行上缺くべからざる要件であるから、外務省に於て指定してゐる南洋の在外指定學校卒業者で、祖國の中等學校に入學を志望する者があるときは左の方法によつて其の入學に關し格別の配慮を行ふこととなつてゐる。

- 一 口頭試問、身体検査及び成績等の審査に當つては南洋地方の特殊事情を充分考慮すること。
- 一 入學願書等は一人一通知父兄の出身道府縣又は縁故のある道府縣に提出するやう外務省から指示してあるが、その提出があつたときは道府縣ではこれを本人志望學校に廻付し、志望學校を特定せず又は志望學校以外の學校を受験しても差支ないときは道府縣に於て豫め願書其の他の書類に基いて審査の上、管内の最も適當と認める學校を選定してそれに廻付する。
- 一 受験の手續が完了した時は直に受験學校名及び受験期日等を道府縣から本人宛に通知する。
- 一 入學の合否が決定した時は直に道府縣から其の入學許可者の氏名、父兄在住地名及び入學した學校名を外務省に報告する。

三月五日發行「週報」並ニ「寫眞週報」掲載内容左記ノ邊

- 寫眞週報第一五八號掲載内容
 - 一 太平洋の空を騒がすもの——英米濠の軍用機群
 - 一 シンガポールを中心として——イギリス軍用機
 - 一 太平洋基地を中心として——アメリカ軍用機
 - 一 漢洲にも軍用機製作工場が出来てゐる
 - 一 オランダの昨今
 - 一 故大角大將以下を送る
 - 一 ほくらのグライダー——大阪市平野高等小學校生徒の作つたグライダー
 - 一 滿洲國の國民學校——新京
 - 一 滿洲國の働く娘たち
 - 一 讀物ページ
 - △決意新らたに必勝の道へ——第三十六回陸軍記念日
 - △國防國家と産業報國
 - △外交戰の渦巻くイランとイラク
 - △常會のページ——百三十五億貯蓄へ
 - △其他
- 週報第二三〇號掲載内容
 - 一 食糧農産物の増産計畫
 - 一 醫療保護法について
 - 一 日露戰爭當時の國民の氣魄
 - 一 青年學校教育の躍進
 - 一 蘇北作戰の概要
 - 一 昭和十六年度總豫算
 - 一 バルカンの近情
 - 一 海軍作戰の戦線
 - 一 前線より統後へ